

2026年5月発行106号

# 豊岡市議会だより

今号より  
全ページ  
フルカラーに  
リニューアル  
しました!

中竹野地区  
コミュニティセンターが  
新築竣工しました



## もくじ

- P 2~ 3: 3月定例会の報告
- P 4 : 2026年度予算概要
- P 5~14: 代表質問および個人質問
- P15 : 建設経済委員会の意見交換会報告・意見交換会をしませんか?
- P16 : まちの仕掛け人訪問インタビュー・6月定例会のお知らせ・編集後記

発行:豊岡市議会/編集:議会広報広聴特別委員会

〒668-8666 豊岡市中央町2-4 Tel:0796-23-1119 Fax:0796-24-8041

E-mail:gikai@city.toyooka.lg.jp URL <https://www.city.toyooka.lg.jp>

# 3月定例会 議案審議：2月27日～3月26日

条例改正、2025年度補正予算、2026年度当初予算、農業委員会の委員任命、委員会提出議案などを審議しました。主な議案の審査状況をお知らせします。

## 2026年度 当初予算 すべて原案可決

詳細は  
二次元バーコードより  
ご覧ください



### 《予算決算委員会の意見・要望》

当初予算は、予算決算委員会に付託し、審議を行っています。所管する分科会で議論され、その後、予算決算委員会で総括し、以下の意見・要望が出されました。

#### 「公立豊岡病院組合への財政支援」

公立豊岡病院組合に対する市の長期貸付について、同組合の構造改革委員会において資金収支を含めた抜本的な経営改革を進めることと並行して融資が行われることとなる。市として、構造改革委員会での議論の方向性と経営改革の執行を見極めるなど、融資資金を毀損しないよう万全の態勢で臨みたい。

#### 「企業誘致推進」

企業誘致推進事業費の内、産業用地適地選定調査業務委託料として448万円が計上されている。本調査に反対するものではないが、すでに市が売却した産業用地の中には、長期間利活用されていない土地がある。今後、それらの土地の利活用についても、所有者に対してしっかりと働きかけを行っていくよう要望する。

#### 「新年度予算の執行」

アメリカ、イスラエルによるイランへの攻撃が始まり3週間が経過したが、なかなか先の見えない状況が続いている。ペルシャ湾ホルムズ海峡が封鎖され、原油等の輸入が滞り、我が国経済に多大な影響が危惧されているところである。本市、新年度予算執行においても原油高による影響が大となり市域経済においても各産業に大きな影響が及ぶことが危惧される。以上のことから新年度予算を執行するにあたり、上記の様子もしっかりと見極め適切な執行に努められたい。





## 《賛否が分かれた主な議案》(一部のみ抜粋)

第26号議案 令和8年度豊岡市一般会計予算 ※超過課税および但馬空港利用促進補助金について

### 【反対討論 (要旨)】

全国で唯一豊岡市だけが課税している市民税の超過課税が存続している。市民税所得割の超過課税が、0.1%の上乗せにより5,500万円が計上されている。本会議での「しかるべき時期に廃止の方向へ検討」という答弁もあるが、代替の財源を用意しての廃止ではなく、ただちに廃止することを求める。

但馬空港利用促進補助金について補助率の見直しを求める。歳出において但馬空港利用促進補助金約7,800万円が計上されているが、他の公共交通、特に近隣市町と料金差が生じている状況にある公共バスの運賃引き下げ、市内一律200円バス等の検討をするべきではないか。

(日本共産党豊岡市会議員団 議員)

### 【賛成討論 (要旨)】

超過課税の相当額は、下水道会計に繰り出しており、仮に廃止した場合、下水道会計への繰り出し確保のため、市民の暮らしや命を守るための道路整備や防災対策、産業振興などの社会基盤整備のための財源を圧迫し、これまでと同じ水準の行政サービスの提供が困難になる。よって、超過課税は必要不可欠な財源である。

コウノトリ但馬空港は、地域の優位性を保つため必要な空港であり、公共交通機関としてはもちろん、災害時の広域防災拠点としての価値も高めてきた。コウノトリ空港の在り方懇話会においても、地元が空港の必要性を強調されており、引き続き利用促進に取り組む必要がある。

(豊岡市議会公明党、令和とよおかクラブ 議員)

## <令和8年3月定例会> 意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。

賛成は「○」、反対は「×」、棄権・除斥等は「―」、議長は採決に加わらないので「/」、欠席は「欠」で表示しています。

議案名等	豊義会											令和とよおかクラブ					豊岡市議会公明党		日本共産党豊岡市会議員団		審議結果			
	青柳順子	浅田徹	荒木慎太郎	岡本昭治	小森弘詞	芹澤正志	中尾浩二	前田敦司	森垣康平	米田達也	石田清	北原大策	西垣秀昭	西田真	福田嗣久	太田智博	清水寛	谷出裕子	竹中理	辻至誠		須山泰一	義本みどり	
第12号議案 豊岡市立保育所の設置及び管理に関する条例及び豊岡市立認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第13号議案 豊岡市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第26号議案 令和8年度豊岡市一般会計予算	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第27号議案 令和8年度豊岡市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第37号議案 豊岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

# 2026年度新年度予算

## 一般会計は517億5,000万円（1.1%増）

2026年度新年度予算編成では、『子どもの医療費助成の拡充』や、『保育所等の保育料の引き下げ改定』『小学校給食費の無償化』『脱炭素先行地域推進事業』『地域解決型予算』など、特に「子育て」と「経済」に関して力を入れた予算提案がなされました。

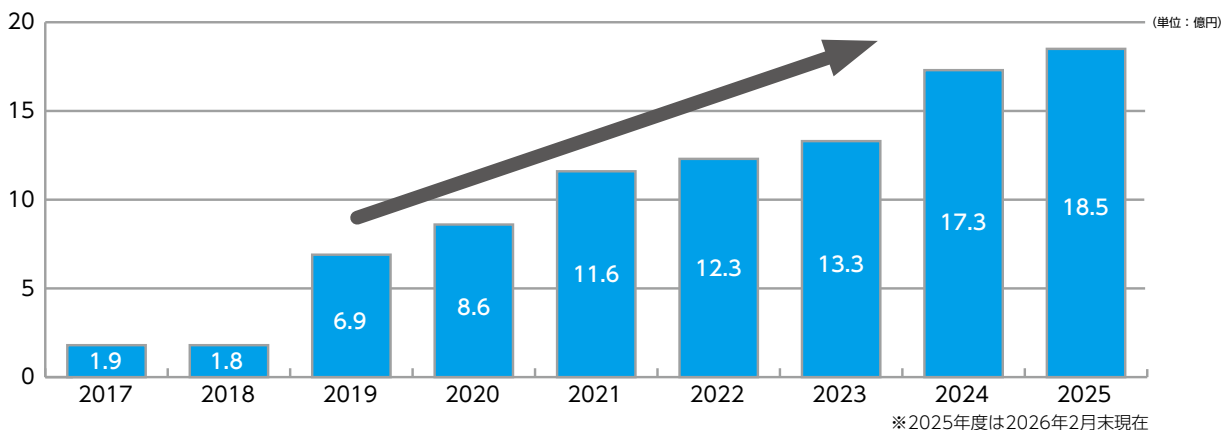
## 全会計の総額は869億7,277万円（0.4%減）

会計	2026年度	2025年度	差額	前年比
一般会計	517億5,000万円	511億8,000万円	5億7,000万円	1.1%
特別会計	209億4,725万円	208億205万円	1億4,520万円	0.7%
企業会計	142億7,552万円	153億8,212万円	▲11億660万円	▲7.2%
合計	869億7,277万円	873億6,417万円	▲3億9,140万円	▲0.4%

### トピックス 「ふるさと納税」の実績

ふるさと納税は、子育てや安全安心の事業などに活用されています。豊岡市は、2019年度以降大幅に増収していますが、普通交付税の減収分をふるさと納税で補填している状況です。

※ふるさと納税は、半分は寄付者への返礼品や事務費となります。



予算の詳細は市広報の紙面またはインターネットでご覧になれます

2026年度予算の詳細は2026年4月号（3月25日発行）「広報とよおか」に掲載されています。

各ご家庭に配布されている紙面もしくは、右側の二次元バーコードよりご覧ください。



# 代表質問・個人質問に18人

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、さまざまな課題について活発な議論を交わしました。もくじとして「大項目」のみ抜粋して掲載いたします。※厳選した内容を次ページ以降に掲載します。

## 代表質問（各会派を代表した議論）

P	議員名（会派名）	質問内容（大項目）
6	米田達也（豊義会）	公約と初心 / 市長総括説明 / <b>新年度予算</b> / 教育行政の方針と施策の展開
	石田 清（令和とよおかクラブ）	市長総括説明 / <b>令和8年度予算</b> / 教育行政の方針と施策の展開
7	太田智博（とよおか未来創生）	市長総括説明 / <b>新年度予算</b> / 教育行政の方針と施策の展開
	辻 至誠（豊岡市議会公明党）	市長総括説明 / 教育行政の方針と施策の展開

## 個人質問（一般事務・議案に対する議論）

P	議員名	質問内容（大項目）
8	前田敦司	<b>脱炭素先行地域事業</b> / 家庭・地域と連携した教育推進 / 日高神鍋地域における戦略 / 指定ごみ袋
	義本みどり	<b>公立豊岡病院組合の財政支援と主たる構成市としての関与のあり方</b> / 地方財政調査票 / 地域医療計画 / 福祉機能の本庁舎集約による連携強化
9	青柳順子	<b>豊岡市奨学金および入学準備金貸付制度</b> / 竹野地域の諸課題 / 第3次環境基本計画の策定 / 竹野学園「たけの未来づくり科」
	谷出裕子	<b>放課後児童クラブ</b> / <b>発達障害</b> / <b>非認知能力向上対策事業</b>
10	荒木慎太郎	<b>新年度予算</b> / 中学校部活動地域移行 / 豊岡市の情報発信
	芹澤正志	<b>公共施設</b> / 移住・定住施策 / 開庁時間の短縮 / <b>雪害対応</b>
11	北原大策	豊岡市の【教育】分野 / 豊岡市の【経済・観光】分野 / 豊岡市の【福祉・医療】分野
	西垣秀昭	豊岡市の今後10年のビジョン
12	西田 真	豊岡市の働きやすい職場環境 / 学校教育 / 選挙の投票 / 環境改良事業
	森垣康平	<b>2026年度一般会計予算</b> / <b>観光施策</b> / <b>コミュニティ施策</b> / 防災施策
13	小森弘詞	選挙の在り方 / 文化会館整備 / 小中学校施設整備及び適正規模・適正配置計画 / 公立豊岡病院組合をはじめとする医療圏域における医療提供体制 / 障害福祉政策
	福田嗣久	続、豊岡病院組合の経営悪化 / アイティの運営 / 図書館利用の課題
14	岡本昭治	農村地域の農業生産環境保全と農業振興 / 獣害対策におけるドローンの活用 / 公立小学校を対象とした学校給食費の無償化
	須山泰一	少子化対策・子育て支援 / 高齢化・核家族化対策 / 市職員の雇用問題 / 超過課税 / <b>公共施設再編計画</b> / 平和、憲法

※太文字は次ページ以降に取り上げられています。

## 全ての議論がインターネットでご覧になれます

議会だよりでは紙面の都合上、一部のみ掲載しておりますが、全ての議論はインターネット上に公開しており、いつでもお気軽にご視聴いただけます。  
※動画の悪質な編集・加工は禁止されております。

パソコンでは「豊岡市議会インターネット中継」と検索をいただきスマートフォンでは次ページ以降の各議員の欄にある二次元バーコードをカメラで読み込みご視聴ください。



## 代表質問



### 市長就任から1年、公約をどの程度反映できたか

豊義会 米田 達也 議員

答 成果には時間を要すが果たすべく行動した

問 市民に寄り添う姿勢（市政）が市長の矜持である。初心に変わりはないか

答 市民と一緒に未来を切り開く思いに変わりはない。更に新たな可能性を切り開く挑戦の年として全力を尽くす。



諸課題に真剣に取り組んで参ります

### 豊岡病院組合への貸し付けについて

問 約19億円もの貸付に、構成市として条件を付し、一丸となり改革に取り組む必要があるかどうか

答 条件というより①改革案の明確化と進捗管理②定期的な収支報告の提出③構成市との協議の場の継続的な設置、支援など、これらを貸し付け後も実行していきたい。

問 順調に改善を見ないとき、早ければ再来年には今と同じ状況に陥る。そうなれば本市の財政に甚大な影響を及ぼすが、市としてどう考えるか

答 本市として、今回の資金支援を一時的な延命措置として終わらせることなく、進捗状況の確認、実効性を担保するマネジメント体制の構築が必要と考える。

### 重点を置いた予算付け

問 新年度は子育て・経済に注力した予算付けとあり、高齢者への福祉はどうなっているのか、との声を聞く。福祉政策（予算）が従前に劣るとは見えてこないかどうか

答 予算発表では、子育てなど他の分野が前面に出ているので高齢者福祉関係予算は見えづらくなっているが、地域の現状課題を踏まえ、しっかりと措置している。



動画はこちら



### 人口減少の要因は

令和とよおかクラブ 石田 清 議員

答 根本要因として経済問題がある

### 人口減少の要因と対策

問 世帯の年収600万円を挟んで子どもの人数が減少しているとの統計に鑑みると、少子化は、個々の人生観、家族観というよりも、根本的に経済問題に帰すると思うがどうか

答 少子化の根本的要因として経済問題があるとの認識は共有している。子育て世帯への経済的支援を土台に据えながら、暮らし全体を支える施策を重ね合わせていく。

問 人口流出要因の内水対策など、人口減少対策でなお不足と考えられる点は何か

答 生活インフラは市民の暮らしを支える基盤であり、市のあらゆる施策、事業は人口減少対策であるという認識で取り組む。

### 子育て支援

問 保育料について、国基準から55%軽減を回るとのことだが、その根拠は

答 アンケートでは子育てや教育に係る経済的負担が大きいと感じている家庭が多い。市の財政負担を考慮しつつ今回の軽減割合となった。

問 金銭信託運用利息枯渇後の子どもの医療費助成の安定的財源の確保策は

答 令和8年度で金銭信託運用益の活用が終了する。今後、安定的な財源の確保が重要である。

### 内水対策

問 内水対策の方針とスケジュールはどうか

答 内水対策庁内検討委員会で実際の降雨データを用いた妥当性の検証を行っている。事業実施においては5年から10年の雨水排水計画に基づき進める。



内水対策の着実な前進を（国府地区の西芝樋門付近）



動画はこちら

## 特定不妊治療に対する通院交通費助成の上限額は



とよおか未来創生 太田 智博 議員

☐ 国の制度を活用。上限額は示されていない

問 国の制度に準ずる市の方向性は、すべての通院回数に対する助成となるのか

答 現時点で示されている国の方向性としては、自宅から最寄りの不妊治療実施医療機関までの片道1時間以上の移動時間を要する場合を対象に、交通費の8割を助成し、助成回数は10回までとなっている。対象者の詳細要件や最寄りの医療機関の判定方法など、具体的な内容については示されていない。本市としては、国の制度内容の詳細が示され次第、具体的な助成内容を決定したい。

問 最寄りの特定不妊治療実施医療機関とは、神戸・姫路・鳥取の地域が対象となるのか

答 最寄りの医療機関については最も気がかりなところである。国の制度では助成対象となる医療機関をどのように決めるのか具体的な考えが示されていない。不妊治療については、利用者が信頼できる医療機関を選択したいという強い思いがある。市民の方々は、神戸・姫路・鳥取の医療機関を利用されている。国から示される制度が本市の実情に即した制度となるよう最寄りの医療機関という考え方や財政負担等も勘案しながら、必要に応じて市独自の制度設計も検討していきたい。

問 特急料金は助成対象か。所得制限はあるのか

答 特急料金の取り扱い、所得要件、所得制限についても詳細はあきらかになっていない。

### 議員のひとこと

特定不妊治療の交通費助成については、利用する市民の方々の実態にあった助成制度になるように国県との調整をお願いする



(生成AIにより作成)

特定不妊治療交通費助成が利用者にとって良い制度へ



動画はこちら

## こども医療費助成を高校生年代へどう周知するか



豊岡市議会公明党 辻 至誠 議員

☐ 対象家庭へ案内を送付、HP等へも掲載する

問 特定不妊治療交通費助成制度の拡充はどうか

答 但馬管内では特定不妊治療を実施できる医療機関がなく、体制整備は現状では困難であることから、治療費助成に加え新たに交通費助成を行い、遠方で治療を受ける方の経済的負担軽減を図る。



(生成AIにより作成)

不妊治療の診察

問 保育料の軽減が子育て世帯に与えるインパクトはどうか

答 保育料の軽減により、3歳未満児1人を預けた場合、月額3万8,000円が2万円となる。年間21万6,000円の負担軽減となり、物価高騰下において子育て世帯の家計に大きな効果がある。

問 R S ウイルスワクチンの公的助成の拡充はどうか

答 本市では予防接種法に基づく定期接種については公費助成を行い、任意接種は原則として助成対象外としている。R S ウイルスワクチンについては、妊婦向け母子免疫ワクチンが定期接種化されたことを受け公費助成を実施しているが、任意接種である高齢者向けについては、現時点で独自助成は行わない方針である。国の定期接種化の検討状況を注視していきたい。

### 学校園の組織力の強化について

問 教職員の勤務時間適正化について問う

答 定時退勤日やノー会議・ノー部活動デーの実施、留守番電話や学校閉庁日の設定、ICT活用などにより、教職員の勤務時間の適正化に取り組んでいる。教育委員会が毎月勤務実績を把握し、校長への助言を通じて業務負担の偏り是正を図っていく。



動画はこちら



## 部署横断的な連携の 想定は

豊義会 前田 敦司 議員

☑ 市長を本部長とし本部会議で行っていく

☒ 脱炭素先行地域認定を受け、市長はこれを、脱炭素化を原動力とした観光再生と経済活性化と位置づけた。この視点は極めて重要だと考えており、本事業を単なる設備整備ではなく、豊岡の将来像と直結する政策として展開していくべき。

観光、農業、エネルギー、防災など、複数分野にまたがる取り組みとなることから、部署横断的な連携と推進体制も必要だと考えるが、どのような役割分担の下、連携していく想定なのか

☑ 全庁横断的に脱炭素化の取り組みを進めることを目的に、市長を本部長とし、全部局長がメンバーである脱炭素推進本部会議でハード・ソフト両面の取り組みについて進捗管理等を行っていくことを想定している。



より良い環境を次世代に

☒ 脱炭素推進は景観と両立してこそ豊岡型モデルが全国に誇れるものになる。景観保全の方針は

☑ 新たに森林を伐採して太陽光発電設備を設置するというような内容は予定していない。

太陽光発電設備の設置に当たっては、兵庫県太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例の徹底とともに、国の太陽光発電の環境配慮ガイドラインを参考に、自然環境や景観への影響に十分配慮していきたい。

### 議員のひとこと

豊岡ならではの自然と共生する取り組みを推進させることで、市民の皆さんが経済活性化と生活の安全安心を実感できるまちへ。市民の皆さんと連携しながら、全国で認定されている脱炭素先行地域の中でも日本一のまちを目指しましょう！



動画はこちら



## 豊岡病院の危機的財政難を 乗り越える市長の覚悟は

みどり 義本 みどり 議員

☑ 但馬の医療を守るため病院と心をつなげる

☒ 病院の経営体制の変化や人事交流の減少により、病院と市との距離が生じてきた可能性がある。財政危機の中で認識のずれがないか懸念されるが、主たる構成市として、病院とどのように一体となって危機を乗り越えていくのか市長の考えを問う

☑ 今回の危機は従来と異なり、より主体的関与が必要と認識。副市長が構造改革委員会にオブザーバーとして参画し議論を共有する。また、経営状況や経営改善について定期的に情報を受け意見を述べる。構成市長会において十分な議論、審査を行い市としても責任ある提言を行うなど改革の痛みも含めて病院と同じ方向を向く関係を築いていく。

### 議員のひとこと

構成市長会は地方自治法に基づいて設置され、委員は豊岡市長と朝来市長で、病院運営の最終的な意思決定を行う重要な役割を担っている！



☒ 市は法令に定められた基準内繰出として年間約27億円を負担してきたが、基準外繰出で病院経営を支えている自治体も少なくない。本市はどのような財政判断で対応してきたのか

☑ 繰出基準に基づき、交付税措置等を踏まえた財政的整理のもとで算定し、適切に支援している。



(生成AIにより作成)

但馬の医療を守るためにどうあるべきか！！

### 議員のひとこと

繰出基準とは、小児・周産期・救急などの不採算医療に対し、自治体が一般会計から負担する範囲を国が示したものの。公立病院は民間では担いにくい医療を支えており、その一部は国の交付税で措置されている。本市は毎年約27億円を繰り出し、このうち約16億円は国の措置があるが、約11億円は市の実質負担となっている



動画はこちら

## 竹野小学校跡地利活用の 市内での議論の進捗は



豊義会 青柳 順子 議員

☑ いまだ整理すべき事項が多岐にわたっている

問 竹野小学校跡地利活用の検討は、今後のスケジュールとして、いつ、どのタイミングで住民のみなさんと共に話を進めていくのか

答 市の素案がまとめ次第提示をし、地域のみなさまと意見交換を行いながら具体的な利活用を検討したいが、現時点では時期を明言できない。もう少しばらばら時間が欲しい。

### 議員のひとこと



地域からの提言書が提出されてから2年経っている。しっかりと行政側として受け止めて議論を進めてほしい



旧竹野小学校の校舎

## 豊岡市奨学金制度

問 豊岡市奨学金の利用状況と課題は

答 2025年3月時点での貸与中人数が延べ67人。新規貸与者は2025年度が4人。課題は、進学資金の最も多い年度当初の時期に初回の振り込みが間に合っていないことなど。対応策として2027年度の新規奨学生から初回振り込み時期を前倒しするよう運用を見直すこととしている。

問 一番入り用になる3月末までに貸与開始の可能性はあるか

答 進学先への在学状況を確認する必要があるため、4月に入ってしまうことが一番の課題。今の制度の中では3月末までの貸与がどうしてもできない。

問 給付という形について検討の余地はないか

答 ニーズや目的をしっかりと整理しながら、今の制度を変える必要があればそういったことも議論していきたい。まだその段階には至っていない。



動画はこちら

## 放課後児童クラブ ICT 化 システムの試行的導入は



とよおか未来創生 谷出 裕子 議員

☑ 最も児童数が多い施設1か所で実施していく

問 導入の目的と具体的な内容は

答 児童の安心・安全な管理と業務負担軽減を目的としている。児童の入退室の記録管理や保護者との連絡をデジタル化し、児童クラブ職員の事務作業の省力を図ることにより、職員が児童に向き合う時間の確保ができる環境を整備する。

問 学校、児童クラブの連絡一本化は検討できないか

答 特に幼児教育の関係については集約して対応を検討していきたい。



安心・安全な放課後児童クラブ

問 放課後児童クラブへの配食サービスの導入の可能性や検討は

答 2025年1月から、夏休みなどの長期休暇中のお弁当に対する保護者の負担軽減に取り組むという提案を募集してきたが、提案の応募には至っていない。改めて共創事業の募集を行い、民間事業者から提案があれば前向きに検討していきたい。

## 5歳児発達健診について

問 就学前の円滑な適応を支援するため、相談ではなく健診の形にすべきでないか

答 1歳6か月健診でスクリーニング検査を実施し、早期発見・早期療育につなげている。医療体制や療育支援体制の状況、対象となる子どもの推移などを勘案しながら、実施については引き続き検討していきたい。

## 非認知能力向上対策事業について

問 成果、課題、今後の見通しは

答 新たな自分を発見、受け入れられる喜びを実感するなど効果が見られ、青山学院大学の委託研究により定量評価でも効果が確認されている。今後は小学3年生以上にも実施の拡大を視野に入れる。



動画はこちら



## 保育料軽減に期待する効果は

豊義会 荒木 慎太郎 議員

☑ 子育てに優しいまちの実現につながると期待

### 問 保育料軽減の概要は

☑ 国基準から約55%軽減。一番多くの世帯が該当する保育料区分の市民税所得割額が9万7千円から16万9千円未満では、3歳未満の子ども1人当たりを園に入所させる場合は、現行の月額3万8千円が軽減後は2万円となり、年間では21万6千円の負担軽減となる。



議員のひとこと  
将来を見据えた持続的な市政運営を！

### 特定不妊治療助成制度

問 本市で特定不妊治療によって出生した割合は

☑ 2023年が17人で約4.4%、2024年が25人で約7.0%、2025年が24人で約7.8%となっている。出生数全体が減少傾向にある中で助成を受けた夫婦から生まれた子どもの割合は増加しており、今後も子どもを望む方々を支える取り組みとして事業を継続していきたい。



(生成AIにより作成)

安心して一歩を踏み出せる環境づくり

問 「豊岡市 不妊治療」とインターネットで検索すると助成制度は出てくるが、クリニックの評判などリアルな情報が入手できない。豊岡で不妊治療を経験された方と今後、治療を考えておられる方の情報共有の場が作れないか

☑ 治療を行う医療機関に関して情報交換ができると有効な面はあると思うが、個人的で繊細な問題もあることから慎重な検討が必要である。



議員のひとこと  
兵庫県で実施している相談窓口も遠方に行かないといけない。助成制度だけでなくソフト面に寄り添った施策の展開を望む



動画はこちら



## 公共施設再編計画改定の肝は

豊義会 芹澤 正志 議員

☑ 次世代に負担や責任を先送りしない

問 第2期公共施設再編計画の改定にあたり、その目標と市の覚悟は

☑ 今後30年間で延べ床面積の37%を削減する方向で調整しているが、公共施設がもたらす市民サービスや生活に必要なものは適切に維持し、コストの抑制や地域活性化への貢献、環境への配慮など、多角的に検討しながら、施設保有量の最適化を進めていく。

問 豊岡健康福祉センターの今後は

☑ 建築年数から見ると、あと15年程度は利用できると考えている。第2期公共施設再編計画においては、大規模改修は控え、現状維持をするが、老朽化の状況により、施設の在り方について検討することとしている。

### 雪害対策

問 除雪路線の選定と見直しは

☑ 認定基準は通学や通勤において必要性が高く、幅員が概ね4メートル以上で、通り抜けが可能なことなどを基本条件とし、安全かつ合理的な除雪作業の実施を重視している。また除雪路線の見直しについては、学校の統廃合や高齢化等による、集落の状況変化などを踏まえ、地元の意見を伺いながら対応している。

問 幅員が狭い道路の排雪についての考えは

☑ 警戒積雪深を超えるような大雪時には、通常の除雪体制を超えた対応が求められる、集落の孤立、生命や財産に影響を及ぼす恐れがある場合など、必要に応じて排雪作業を含む特別な措置を講じることとしている。



早朝の除雪作業



動画はこちら

## 出石を高付加価値型文化観光の起点にできないか



令和とよおかクラブ 北原 大策 議員

問 本市の観光政策が目指す方向性にも合致

問 今の出石地域の盛り上がりを出石観光産業の構造転換の一里塚としたいがどうか

答 観光消費単価や滞在時間、地域内での付加価値残存率の向上を目指す高付加価値型文化観光という考え方は、今後の出石地域の観光地経営を考えると、重要な視点の一つであると認識。

見る観光から体験する観光への転換は、本市の観光政策が目指す方向性にも合致したものであると考えている。官民一体となって稼ぐ力を強化すべく、民間事業者の皆様の意欲的なコンテンツ開発や体験造成の取り組みを支援していきたい。

問 地域振興基金活用の可能性は

答 財源確保にも努める。



議員のひとこと

地域内で経済が循環する仕組みをつくる



出石の観光構造転換点となるか!?

### 豊岡市の教育分野について

問 教員の働き方改革は進んだか

答 過去2年間では時間外勤務は減少しているが、課題が残る。

問 部活動の地域移行の進捗は

答 段階的に推進中である。

問 校務DXで教員負担は減ったか

答 効率化進むが道半ばである。

### 豊岡市の福祉行政について

問 情報弱者へのアプローチは

答 全ての人が支え合いながら、生きがいを持って暮らせる地域共生社会の実現を目指す観点から、次期地域福祉計画の策定において検討したい。



動画はこちら

## 10年先を見据えた農地保全のビジョンは



令和とよおかクラブ 西垣 秀昭 議員

問 地域住民と一緒に、農地を守ることが必要になる

問 高齢化で後継者不足の中、農地を維持していくための具体的な取り組みは

答 農業スクール生による人材確保や、農地バンクを活用した地域計画の実現に向けた取り組みを、地域全体で進めていく。



将来に残したい田園風景

議員のひとこと  
農地は、荒れてしまうと戻すのは、非常に大変。今後の10年の取り組みが極めて重要です

問 但東地域の公共施設再配置に対する考えは

答 規模や数は減っても、多機能化、複合化という視点で市民の使い勝手を向上させていく「縮充」という考え方で、地域住民と共に検討する。

議員のひとこと  
但東に住む人達の思いや意見を汲み取り、地域の顔としてふさわしい施設が整備されることを望みます

問 但東で検討が進められている小中一貫校のビジョンは

答 保護者や地域住民も参加して、但東独自の特色と地域とのつながりを大切にした魅力あるカリキュラム編成を目指す。

議員のひとこと  
老若男女にとって、夢のある教育文化施設となるよう望みます

問 新設される「空き家対策室」のビジョンは

答 空き家の現状把握と、適切な管理支援、空き家所有者への啓発活動、空き家バンクの充実などに取り組み、地域内で活動されている方々とも緊密に連携したい。

議員のひとこと  
空き家が、有効活用されることを望みます



動画はこちら



## 障害者雇用を公的機関として率先すべき

令和とよおかクラブ 西田 真 議員

☑ 引き続き法定雇用率達成につとめる

問 障害者雇用促進法の改正で、法定雇用率は本年7月から公的機関では3.0%に拡大される。障害者の雇用を、公的機関として率先するべきだと思うがどうか

答 法定雇用率が改定され3.0%に引き上げられるが、引き続き充足できるよう、障害者雇用に努める。



就労により自己実現と社会とのつながりを

### 議員のひとこと

本市の障害者雇用は32人で2.89%、本年7月から3.0%に拡大されるが、障害者にも寄り添い、誰1人取り残さない福祉のまちへ！

問 人口減少に伴う職員数の見直しも必要だと思われるが、行政サービスの低下につながってはならない。今後の職員定数の考え方はどうか

答 定員管理計画に基づき職員数の見直しは行うが、行政サービスの低下を招かないよう、業務プロセスの見直しやDXの活用などを行い、市民サービスの一層の向上に努める。

問 新1年生は家に和式トイレがないから使い方が分からない、怖いと聞く。先生も教えるのが大変だと聞く。全ての小学校のトイレの洋式化完了は何年度か

答 トイレ整備については計画段階にあり、2030年までに小学校のトイレの洋式化率を8割以上とすることを目標としている。

問 過疎化に悩む地域の高齢者のために、移動式期日前投票所が必要だと思うがどうか

答 先進地での事例も研究しながら、移動式期日前投票所も含め、期日前投票所自体の在り方を検討する。



動画はこちら



## 予算概要は市民に分かりやすく周知すべきでは

豊義会 森垣 康平 議員

☑ 可能な限り改善し分かりやすい資料にする

問 予算を周知する際に市民が興味を持ちやすいような工夫をしてはどうか

答 今後の参考にさせていただく。

### 観光施策

問 国内観光客誘客事業での各組織の役割分担と課題は

答 全市的なマーケティングやプロモーションは\*TTI、観光地の魅力アップは各観光協会、地域間連携推進はTTIと市が中心となり取り組む。課題はさまざまあるが、各組織が役割を超えて連携し施策を実施することが課題解決に繋がると考えている。

問 歴史的価値の高い市内のイベントも物価、人件費の高騰により資金繰りが悪化している。このままでは、これらのイベントがなくなるのではと危惧する。イベント継続と市民が安全にイベントに参加できるように警備費等の補助金の増額は検討できないか

答 豊岡市の交付金の使い方として適切かどうか検討が必要。なんとかしたいとは考えている。



後世に引き継ぎたい柳まつり

### 議員のひとこと

豊岡を代表する柳まつりや出石初午祭等が後世へ引き継がれるように努めていただきたい



### コミュニティ施策

問 前倒しで改定する地域コミュニティビジョンに対する市の考え方と方向性は

答 見直しにあたっては地域の主体性を尊重していく。人口減少が急速に進み地域課題も増えており、組織体制の強化や各コミュニティの特性をいかすビジョンとなるように取り組む。



動画はこちら

\* TTI：「豊岡観光イノベーション」の略

## 総合体育館隣接地の整備状況は



豊義会 小森 弘詞 議員

☑ 年度内に整備方針を決定したい

問 駐車場にするだけでなく、立地を考え、イベントも開催できる多目的広場として整備を求める声があるが、どう進めるのか

答 庁内検討案では多目的広場の要素は入っている。財源確保や他部署との協議を行っており、全部が駐車場になることはない。



議員のひとこと  
憩いの場、にぎわい創出の場として機能的な整備が求められます

### 小学校校庭の芝生

問 学校によっては維持・管理が難しくなっており、鹿などの食害や糞による被害もあるが、認識は

答 経年劣化や管理の難しさから、必ずしも良好な状態を保てない学校もあると認識している。鹿などの野生動物による食害や糞害も報告されており、児童への衛生面の影響も憂慮している。今後は各校の個別の状況に応じて対策を講じる。



実情に応じた整備が求められる校庭



議員のひとこと  
子ども達が安全に楽しく使える校庭整備に向けて各校の実情に応じた対応が必要です

### 公立豊岡病院組合への貸付

問 但馬全体の医療提供体制の議論を進めるべきで、医療計画を立てる県に強いリーダーシップを発揮してもらいたい。市長の考えは

答 事情を踏まえて県の方に強く申入れをしていくが、豊岡病院組合を構成している豊岡市と朝来市が、まずはやれることをしっかりと取り組むという姿勢で臨んでいる。



動画はこちら

## 構造改革委員会への関わり方は



令和とよおかクラブ 福田 嗣久 議員

☑ 自分事として構成市としての責任を果たす

問 厳しい豊岡病院組合の経営、25億円貸付の判断に至った経緯はどうか

答 新年度に想定される資金不足額や運転資金としての安全余裕資金、経営健全化団体への回避ライン、一時借入金の限度額等を勘案した額である。

問 極端な経営悪化の原因はなにか

答 給与費増、物価高騰に対して診療報酬が適切に反映されていない。救急医療をはじめ公立病院の不採算部門の地方財政計画の単価引上げが不十分。医療材料、機器などにかかる\*損税の発生等が原因。



建築に着手した救命救急センター東新棟

問 構造改革委員会へ求めるものは何か

答 各病院の機能の見直し、費用削減、及び収入確保策など聖域なき抜本的な改革案を期待。但馬地域全域の医療提供体制を勘案する中、組合外からの財政支援の必要性がある。

### 使いやすく有意義な図書館づくりについて

問 駐車場が狭いがどうか

答 豊小の駐車場利用等台数確保に努めている。

問 館内の電源利用の考え方はどうか

答 電子機器（パソコン）活用の学びが増えていることから利用の方向で対応する。

### アイティの運営について

問 アイティ都市開発の直近の経営状況はどうか

答 アイティビルは創立30年を迎え施設の老朽化に伴い大規模修繕による支出増が想定される。また、空き区画が6区画もあり、テナント入居者の確保が喫緊の課題。

さらに設立当初より過少資本、過大債務の経営構造が続いており、持続可能で安定的な経営となるように注視していく。

\*損税：医療機関が負担する患者から徴収できない消費税



動画はこちら



## 農業生産環境の保全のための施策は何が必要か

豊義会 岡本 昭治 議員

答 多様な担い手の確保が必要だと考えている

問 専業農家や営農組合および法人経営のみで全ての農地を維持することは、労働力、経営面積の面から限界があると考えます。農地維持の担い手として極めて重要な役割を担っている兼業農家への支援の重要性についてどのように考えているか

答 全国の自治体の中には、例えば香川県など、半農半Xや兼業農家を含む多様な担い手を確保するための支援策を打ち出しているところがある。財政状況等を考えると、市単独での事業展開は難しい状況と考えるが、県と連携するなど、支援に向けた仕組みづくりについて研究していきたい。



多様な担い手の確保が必要

### 獣害対応におけるドローンの活用

問 獣害被害をより少なくするため高性能ドローンの活用は有効な手段だと考える。赤外線による個体確認、広域監視および被害発生直後における迅速な状況確認などに活用できると思うがどうか

答 最新技術の動向を注視しつつ、個体の生息状況調査や農業被害の迅速な把握など、本市の運用に適した多角的な活用策について研究していきたい。

### 公立小学校における学校給食費の無償化

問 子育て世代の経済的負担軽減という観点では大きな前進である。もう一步進んだ取り組みとして、給食の質の向上が必要であると思うがどうか

答 身近な生産者の農産物や有機野菜等の使用を伝えることによる親近感や安心感を高めること、リクエストメニューやふるさと献立の提供による給食のイメージの底上げなど、子どもたちの心身の成長を支え、地域の文化や産業への理解を深める取り組みを進めていきたい。



動画はこちら



## 子育て支援の拡充を歓迎、高齢者支援も拡充を

日本共産党豊岡市会議員団 須山 泰一 議員

答 地域の課題を踏まえた事業を着実に実施する

問 こども医療費の18歳までの無償化拡充、3歳未満の保育料軽減と、国による小学校給食の無償化が重なった。子育て支援の拡充を喜びつつも、さらに進めることを提案する。中学校の給食無償化への目途はどうか

答 国において、現在のところ具体的な時期等は示されておらず、実現の目途は立っていない。市独自の無償化は難しい。

問 長引く物価高騰は全市民の生活に重くのしかかっている。物価高騰、年金の目減りなど、高齢者の暮らしは一層困難だ。公共交通利用困難者などが利用する本市の外出支援サービスは、2年前に利用者負担が2.26倍になった。さらに見直し案が出ている。助成額を縮小しすぎではないか

答 今回の見直し案では、区分ごとで利用者負担を一律にする。また個々の利用者への助成額に上限を設定する。一定の制約の中で、個人負担と公費負担の在り方を、皆で考えていく必要がある。

### 公共施設再編計画について

問 本市の計画は2016年からの40年間で延床面積を34%削減するというもの。この10年の達成度が約10%ということだが、地域住民の意思の尊重が大切だ。前期計画が終了する学校園の統廃合も、計画ありきの削減でなく、地域、保護者、子どもの意向の尊重を求める

答 これまでから計画ありきで進めたことはない。典型的な例が八代小、静修小だ。静修小は一年前倒しで日高小と統合、八代小は小規模特認校を継続している。説明会や意見交換の場をしっかりと設け、保護者や地域住民と十分な合意形成を図る。



小野小学校の閉校式



動画はこちら

## 建設経済委員会(2月2日)

### 豊岡商工会議所との懇談会

去る2月2日、豊岡商工会議所の役員の方々と「商工業・特産業振興や地域活性化策の推進について」をテーマに意見交換を行った。

まずは、部会ごとに要望・意見をお聞きし、その後質問や意見交換が活発に行われた。多くの要望・意見をお聞きしたが、問題の元となる課題は人口減少による人手不足と急速に進行する物価高騰のように感じた。

市としても、両問題についてはさまざまな施策に取り組んでいるが、現場感覚ではまだまだ行き届いていないとの意見が多かった。中には学生、移住者等に地元企業の情報が届きにくく、就職へと繋がりにくいといった意見もあった。これらの問題解決に向け、ますます官民共創の重要性を感じさせられた。

当委員会としては、今後も多くの団体等と意見交換会を行い、幅広い意見、要望を聞いていきます。



懇談会のようす

# 意見交換会をしませんか？

**=市議会議員（委員会）と意見交換をする団体を募集します=**

- ◆対象／市内の各種団体、グループ
- ◆内容／団体等の活動内容、課題など
- ◆方法／団体等から出されたテーマについて意見交換（90分間程度）
- ◆申込方法／次の事項を記入の上、郵送、ファクスまたはメールで申し込んでください。
  - ①団体等の名称、所在地、活動内容、参加人数、代表者、連絡先
  - ②希望される開催時期、会場
  - ③意見交換のテーマ
- ◆申込期限／6月11日（木）
- ◆申込み・問合せ／議会事務局  
TEL 23-1119 FAX 24-8041  
E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp
- ◆その他／議会日程などの都合によりお断りする場合があります。



### 委員会の所管事項

	総務委員会	文教民生委員会	建設経済委員会
委員会重点調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想と市政運営</li> <li>・地方創生施策の推進</li> <li>・移住定住・人口減少対策</li> <li>・地方財政及び行財政改革</li> <li>・公共施設マネジメント</li> <li>・自治体DXの課題と推進</li> <li>・消防行政の推進</li> <li>・地域コミュニティの推進</li> <li>・ジェンダーギャップ解消の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉等の充実</li> <li>・医療の確保</li> <li>・教育をめぐる諸問題</li> <li>・子ども・子育て支援</li> <li>・文化・スポーツ振興</li> <li>・文化財の保護と伝統文化の継承</li> <li>・生涯学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経済戦略の推進</li> <li>・農林水産業・商工・観光・特産振興等経済支援、地域活性化施策の推進</li> <li>・有害鳥獣対策の推進</li> <li>・地域内幹線道路の整備促進</li> <li>・都市計画マスタープラン</li> <li>・公営住宅のあり方</li> <li>・下水道事業計画及び地域水道ビジョンの推進</li> <li>・専門職大学と演劇のまち</li> </ul>

# まちの仕掛人 訪問インタビュー

先を  
てして  
訪問  
集し  
いま  
す!

## 地域の新たな拠点の完成!

### ～中竹野地区コミュニティ 地域づくりの取り組み～

2026年3月18日に完成した中竹野地区コミュニティセンターの開所式が3月29日に行われ、中竹野地区コミュニティ会長の田中博文さんにお話を伺いました。

中竹野地区コミュニティでは、地域のみなさんと共にさまざまな取り組みを実践されてきました。地元の



新しいセンター内の「ふれあい喫茶」で楽しいひととき

方が生産された野菜の販売を行う「ふれあいマーケット」や地域の方の憩いの場「ふれあい喫茶」、さらにみんなで食材等を持ち寄って開催する「ふれあい居酒屋」など多くの賑わいを創出されています。

今回新しくなった拠点は入口にスロープが付いている平屋で、市内公共施設では初の「Nearly ZEB」(省エネなどでエネルギー消費量の収支をゼロに近づけた建物)となっており、人にも環境にも優しい建物です。

田中さんは、この新しい拠点をより一層多くの世代の方が集うことのできる、賑わいの拠点にしていきたいと語っておられました。



中竹野地区コミュニティ会長の田中博文さん

## 6月定例会の日程(予定)

本会議(開会日)	5月29日(金) 9:30～
本会議(一般質問)	6月8日(月)～11日(木) 9:30～
常任委員会審査 (総務・文教民生・建設経済)	6月15日(月) 9:30～
常任委員会審査(予算決算)	6月11日(木)*、22日(月) 13:00～
特別委員会審査	6月22日(月) 9:30～
本会議(閉会日)	6月24日(水) 9:30～

※ 一般質問終了後に開催

### 【本会議の傍聴について】

一時保育(無料)を実施していますので、希望者は1週間前までにお申し込みください。また、豊岡市議会インターネット中継によりパソコン、スマートフォンから審議の様子を生中継でご覧いただけます。

■問合せ/豊岡市議会事務局

☎ 0796-23-1119

### 編集後記

▶ 昨年11月より議員となり毎日が緊張と失敗、そして新たな発見の連続です。広報広聴委員として議会だよりの製作に携わることになりこれも新しい発見となりました。

▶ 前号までは表紙、裏表紙のみカラーでしたが今号より全頁がカラーになりました。細かいところまで見やすくなったかと思います。議会だよりを読んだの新しい発見、感想、疑問などお聞かせください。(辻 至誠)

▶ 自分自身で原稿を作るのは頭を悩ませますが、先輩・同僚議員の原稿を地域のみなさんより一足先に拝見するのは非常に勉強になります。

▶ それぞれの議場での議論がぎゅっと詰まったこのたよりをぜひご覧ください。

▶ また、ご覧いただきましたあかつきには、ぜひぜひお声をお聞かせくださいね。

(青柳順子)

### 議会広報広聴 特別委員会

委員長	前田 敦司
副委員長	須山 泰一
委員	青柳 順子
〃	小森 弘詞
〃	谷出 裕子
〃	辻 至誠
〃	西垣 秀昭

UD  
FONT

見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採用  
しています。